

令和8年度 徳島県立鴨島支援学校 学校評価（プラン）

重点課題	重点目標	自己評価			総合評価		学校関係者評価 今後の改善方策	
(1)児童生徒一人一人の個性や能力に応じた自己実現をめざす「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進	【教務課】 ・児童生徒一人一人の実態を踏まえた授業の実践を行い、「身体・健康」「学習」「社会生活」の分野における学力の向上を図る。	<p style="text-align: center;">評価指標</p> ① 年間を通して、各教科・領域の目標が「達成」となる割合が80%以上となる。	<p style="text-align: center;">評価指標による達成度</p>	<p style="text-align: center;">評定</p>	(所見)			
		<p style="text-align: center;">活動計画</p> ①-1 新しい教育課程において、児童生徒の主障がい及び実態、教員配置を考え、時間割の作成、運用を行う。 ①-2 前後期各1回ケース会を設け、一人一人の学習環境や指導方法の検討等を行い、情報を共有し、支援につなげていく。	<p style="text-align: center;">活動計画の実施状況</p>					
		<p style="text-align: center;">評価指標</p> ① 得意なことやアイデアを活かした作品を作り、地域へ配布・掲示することができる。 ② 取組を通しての個々の学びを発表する。	<p style="text-align: center;">評価指標による達成度</p>	<p style="text-align: center;">評定</p>			(所見)	
		<p style="text-align: center;">活動計画</p> ① 吉野川市役所・藤井寺・案内所で配布・掲示する作品づくりに取り組む。 ② 地域交流の学びや工夫して取り組んだことをまとめる。	<p style="text-align: center;">活動計画の実施状況</p>					

令和8年度 徳島県立鴨島支援学校 学校評価

重点課題	重点目標	自己評価			総合評価	学校関係者評価 今後の改善方策
		評価指標	評価指標による達成度	評定	(所見)	
(2)地域や関係機関と連携した防災教育の実施	<p>【特別活動課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巨大地震や自然災害から児童生徒の命を守るため、家庭や地域、近隣の医療機関、福祉施設との連携を深め共助体制を整える。 	<p>① 年間3回の避難訓練と年間1回の不審者対応訓練を実施する。</p> <p>② 防災オリエンテーリング後の振り返りで、「学校周辺の危険箇所や避難経路等の立地の確認ができた」「地域や近隣病院、施設の方々と交流できた」等の意見や気づきが児童生徒から出る。</p> <p>③ 「引き渡し訓練」「親子で防災学習」実施後にアンケートを行い、「防災意識を深めることができたか」の質問に「ややできた」「できた」と回答する保護者が80%以上となる。</p>				
		活動計画	活動計画の実施状況			
		<p>① より実践的な訓練になるよう障害物の設置や児童生徒の実態に応じた安心グッズの持参等、リアルな場面を想定した訓練を計画・実施する。</p> <p>② 地域や近隣病院、施設等をチェックポイントに設定して、地域社会の人と交流しながら行える防災オリエンテーリングを年間1回実施する。</p> <p>③ 家庭と連携した引き渡し訓練や防災学習を年1回行い、実施後に教員と保護者を対象にアンケートを行う。</p>				

令和8年度 徳島県立鴨島支援学校 学校評価

重点課題	重点目標	自己評価			総合評価		学校関係者評価 今後の改善方策
(3)特別支援学校のセンター的機能を発揮するため、校内での研修体制を構築し、個々の教員の専門性の向上を図る	【研究課】 (研修) ・教員の研修の充実を図り、教員の資質や専門性の向上に努める。 (人権教育) ・多様性を尊重できる児童生徒を育てるため、教職員の人権意識の向上をめざす。	評価指標	評価指標による達成度	評価	(所見)		
		① 研修終了後にアンケートを実施し、「満足」「やや満足」の回答の割合が80%以上になる。					
		活動計画	活動計画の実施状況				
		①-1 社会人講師(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)による来校指導や研修会を年間6回以上実施する。 ①-2 社会人講師来校時の授業記録を活用し、専門家の意見を共有する。また、引き継ぎ資料の充実を図る。					
		評価指標	評価指標による達成度				
		① 研修終了後にアンケートを実施し、「満足した」「人権意識が変わった」の回答の割合が80%以上になる。					
	【特別支援教育課】 ・教員の特別支援教育に関する専門的な知識の向上を図る。	評価指標	評価指標による達成度	評価	(所見)		
		① 研修会後のアンケートにおいて、「今後の指導に活かすことができる」「新しい知識を得ることができた」と回答する教員の割合が80%以上となる。					
		活動計画	活動計画の実施状況				
① 子どもの行動の理解と支援に関する研修会を実施し、教員の専門性の向上を図る。研修後は事後アンケートを行い、成果と課題を検討する。							

令和8年度 徳島県立鴨島支援学校 学校評価

重点課題	重点目標	自己評価			総合評価	学校関係者評価 今後の改善方策		
		評価指標	評価指標による達成度	評定	(所見)			
(4)子ども達の「分かる」、「できる」授業の更なる充実をめざしたDXの推進	【情報視聴覚課】 ・ICTを有効に活用し、ICT活用指導力の向上を図る。	① ICTを活用して指導する能力に関して「効果的に活用できた」と回答する教員が80%以上となる。						
		活動計画	活動計画の実施状況					
		① Teams等を活用して情報発信をし、共有を図ったり、意見交換を行ったりする。						